

ぶどうの木



第221号 2021年 11月号

発行人 牧師 広田叔弘
企画編集 広報委員会
www.church.ne.jp/umegaoka/
2021年10月24日発行

〒155-0033
東京都世田谷区代田 3-37-7
TEL : 03-3414-5772
FAX : 03-3414-5778



『キリストに出会う』

牧師 広田叔弘

若者は言った。「驚くことはない。あなたがたは十字架につけられたナザレのイエスを捜しているが、あの方は復活なさって、ここにはおられない。御覧なさい。お納めした場所である。さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。『あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われたとおり、そこでお目にかかれる』と。」

マルコによる福音書 16章 6、7節

教会の暦では、十一月の第一主日を「聖徒の日」と定めています。亡くなった方々を記念する日です。冒頭に掲げた聖書は、イエスが死から復活した日曜日の朝の出来事を伝えています。初めに出来事を振り返りましょう。

マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメ、女性の弟子たちは朝一番で墓を訪れました。イエスの遺体に香油を塗るためです。しかし、そこに遺体はありません。一人の若者がおりました。彼は告げます。「あの方は復活なさって、ここにはおられない。御覧なさい。お納めした場所である。」示したのは空虚な墓穴です。イエスは復活を遂げました。空の墓は、死が空しくなったことを示すものです。若者は言葉を続けます。「さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。『あの方は、

あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われたとおり、そこでお目にかかれる』と。」示されたのは空の墓だけではありません。「復活したイエスとお目にかかれる」この約束が与えられるのです。

愛する者たちを送ってきました。私たちは、主の復活を告げる御言葉を杖として、厳しい現実を歩んできたのです。そして、ただ「信仰をもって頑張つて来た」と言うのではありません。キリストと出会う約束が与えられています。そして私たちは、現に主イエスと出会う、何度も出会う続けてきたはずです。

肉の目で見ただけではありません。触って確かめたわけでもない。けれども、信じられるのです。「大丈夫だ」「主を信頼して生きて行こう」理屈抜きで信じるのが出来ます。愛する者を送る悲嘆の中にあっても、もう一度、生きる勇気が湧いてきました。キリストと出会うとはこういうことです。注意したい

のは「あなたがたより先に」と述べられている点です。主が私たちの行く道の先で待っています。出合いは、私たちの信仰の熱心さに比例するわけではありません。悲しみや嘆き、不安や不信仰を抱える私たちの歩みの先で、主キリストが待っているのです。

墓は空です。死に勝利した方が待っています。心を高くして共に歩んでいきましょう。